

新潟県小中学校教頭会

会報

No. 206

目次

●会長あいさつ	1
●副会長あいさつ	2
●本部役員紹介	3～4
●専門部活動紹介	5
●郡市教頭会ネットワーク	6
●新入会員の声	7
●随想	8



未来への懸け橋としての 教頭会を目指して

新潟県小中学校教頭会

会長 浅山 景

(妙高市立斐太北小学校)

本年5月、当会の理事会にて選出、代議員にて承認され、新潟県小中学校教頭会の令和7年度の会長となりました浅山 景です。浅学菲才の身ではありますが、一生懸命に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

今年度の当会は「夢や希望に向かい、他者とともに自ら未来を拓く子どもをはぐくむ学校づくり」を基本方針として掲げています。会員一人一人が主体的に活動に取り組み、郡市教頭会と連携し、教頭としての資質・指導力の向上を図ります。そして、本県小中学校教育の発展に寄与することを目指していきます。当会の活動へのご理解と主体的な取組を重ねてお願いいたします。

さて、本年は昭和100年となります。昭和、平成、令和と時代を経た今日までの100年間、我が国の教育では大きな変化がありました。1947年、戦後の教育改革として6・3・3・4制の導入。2002年、完全学校週5日制の実施と児童生徒の自主性や創造性を重視したゆとり教育が導入されました。

そして現在、我が国は人口減少、地方の過疎化、環境問題、資源の枯渇など様々な問題を抱え、AI技術の進化やグローバル化の進展などにより、今後20年後の未来社会は予測不可能であると言われています。仮にどのような未来社会であっても、たくましく、しなやかに生き抜き、他者と協働して持続可能な社会を創造する人材の育成を目指し、2021年に令和の日本型学校教育がスタートしました。

令和の日本型学校教育の実現のためにはいくつかの障壁があります。例えば、職員間、学校と保護者、地域社会との連携が不十分な場合、教育改革の理解

や協力が得られないことも想定されます。また、教員の負担増加が挙げられます。個別最適な学びや協働的な学びを実現するには、教員の指導方法の変革が必要となり、時間と労力がかかります。

これらの障壁を乗り越えて、令和の日本型学校教育を実現するために、教頭職の果たすべき役割として以下のことが求められています。

- 1 学校経営の補佐とビジョンの共有
校長の示す教育方針を教職員と共有する。
- 2 教職員の指導・支援
研修の場を提供し、教職員として必要な資質・指導力を主体的に向上させる支援をする。
- 3 個別最適な学びと協働的な学びの推進
児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出すための環境を整えたり、ICTを活用した教育を推進したりする。
- 4 保護者・地域との連携強化
保護者や地域、学校運営協議会と積極的に関わり、学校の教育活動への理解と協力を得る。
- 5 働き方改革と業務効率化
教職員の業務負担の軽減を図り、教職員が児童生徒と向き合ったり教材研究を行ったりする時間を確保する。

このように教頭職は、学校運営の中心的な役割を担いながら、教職員や児童生徒の学びを支える存在です。一人一人の教頭がやりがいと自信をもって職責を全うすることが、昭和100年を中継点とした未来社会への懸け橋となると考えています。全会員659名の知恵と行動力を集結し、未来社会への懸け橋となる教頭会の構築を目指してまいりましょう。



「かかわること」を大切に

副会長 長谷川 孝 史
(上越市立豊原小学校)

今年度より副会長を務めさせていただきます。会員の皆様とのつながりを大切にしながら職務を果たしていきたいと思っております。1年間よろしくお願いいたします。

先日、新潟県同和教育研究協議会の理事会・総会に参加させていただきました。今年度の計画などが示され、引き続き「かかわる同和教育」を大切に進めていくことが確認されました。

どの学校にも困り感のある子、職員、保護者がいることと思います。私は教頭として何ができるのか、何をすべきなのか、これからも常に考えながら、困っている相手に誠意をもってかかわっていきたいと考えています。

県教頭会の活動計画の基本方針には「新潟県小中学校教育の発展を目指し、研究活動を中核に据え、会員相互の交流を重視した活動を推進する」とあります。本会も会員同士がかかわり合いながら交流を深め、県全体の教育をさらに発展させていくことができるよう、精一杯尽力してまいります。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



教頭の幸福度アップに向けて

副会長 金子 優 誠
(長岡市立表町小学校)

先日、先進国43か国に住む子どもの「幸福度」を調査した報告書が発表されました。日本は身体面では1位だったのに対し、精神面は32位と下位でした。では、教頭の「幸福度」はどうなのでしょう。昨年度の県教頭会調査要請部作成のアンケート結果によりますと、疲労感を抱いている教頭が84.1%、また、7.6%が入院・通院・自覚がありながら未治療のいずれかに該当していることが明らかとなりました。精神面と身体面のいずれの幸福度も、高くはない状況といえそうです。

これまで各種会合に参加する中で、教頭同士が情報交換をしている様子を見ると、表情穏やかに

会話をしている姿をよく目にします。各学校、抱える課題はさまざまですが、同じことで悩んでいる教頭は必ずいるはずです。悩みを打ち明けるだけでも心は軽くなります。もしかしたら、過去に同様の内容で悩んでいたけれど、ある取組により解決できたという方もおられるでしょう。そういった貴重な情報交換ができるのが、教頭会なのだと思います。年複数回実施する各地区の教頭会での情報交換を充実させることが、教頭の「幸福度」アップの鍵を握っているような気がしている今日この頃です。



改革して、何がしたいのか

副会長 坪川 淳 助
(新潟市立月潟中学校)

当会では、会員の皆様からアンケートのご協力のもと、教頭の勤務実態調査等を行い、報告書にまとめております。令和6年度の報告書には次のような調査結果が示されています。

質問16「副校長・教頭としてやりがいを感じる職務（複数回答）」

- 1位 教職員の育成(79.6%)
- 2位 児童・生徒指導上の課題への対応(67.2%)
- 3位 職場の人間関係(66.1%)

質問15「主に時間と労力を費やしている職務（複数回答）」

- 1位 児童・生徒指導上の課題への対応(72.7%)
- 2位 保護者・PTAとの連携(58.0%)
- 3位 各種調査依頼等への対応(50.9%)

ちなみに、質問16の1位「教職員の育成」は、質問15では8位（32.0%）でした。また、報告書にある質問17と比較したグラフやアンケートのまとめ、意見報告書も大変興味深いです。再度ご覧いただければと思います。

学校での教職員の働き方が議論されるようになり、感染症の流行も影響し、私たちの職場の様子は10年前と比べて変わってきました。働きやすくなった面もあります。しかし、少し立ち止まってみたいのです。そもそも、何のための改革なのか。改革して、何がしたいのか、を考えたいです。当会でも、会員が集まる機会では話題にさせていただけたらと思っています。今年度もよろしくお願いいたします。

令和7年度

本部役員紹介



幹事長 大 坪 豊
(上越市立下黒川小学校)

今年度から、幹事長を務めさせていただくことになりました。教頭という立場になって実感することは、本当にたくさんの人から支えていただいているということです。この立場として、何か少しでもお返しすることができるよう、県教頭会のために精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



中越地区庶務幹事 高 橋 雅 和
(長岡市立千手小学校)

サスペンスドラマにはまっています。こうしたドラマには必ず見る人を立ち止まらせる演出がなされています。どうしてこんな犯行が可能なのか、どのように証拠を隠したのかなど、自然と考えてしまうのです。これは授業作りにも通じると感じています。子どもが立ち止まる場面をしっかりとって考えさせる。こうしたことを職員と共有していきたいです。



会計幹事 横 尾 裕 美
(上越市立三和小学校)

今年度、会計幹事を務めさせていただくことになりました。現任校は、今年度三和区の3つの小学校が統合され、新しく誕生しました。子どもたちの様子を見てみると、かかわることの大切さを感じます。私も教頭会の会員の皆様とかかわり合いながら、教頭会のために頑張ってまいります。よろしくお願いいたします。



下越地区庶務幹事 小 池 政 博
(新潟市立黒埼中学校)

教育現場が大きく変わる今、学校運営の要である教頭に求められる役割もまた、変化してきています。新潟市では第4次多忙化解消計画「教職員 Well-Being計画」に基づいて、働き方改革を推進しています。

私も先生方の時間外在校等時間の短縮だけでなく、教育を行う幸せも求めていけるように、取り組んで行きたいと思います。よろしくお願いいたします。



上越地区庶務幹事 亀 山 亨
(上越市立大町小学校)

現任校の重点目標は「共につくる」です。教頭会も会員同士のかかわり合いを大切に、「共に」語らい、「共に」学び合い、「共に」高め合っていく会となりますことを願っています。

今年度も役員を仰せつかりました。県教頭会が、より充実するよう微力ではありますが連絡・調整役として努めてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



下越地区庶務幹事 中 山 久 司
(村上市立岩船中学校)

今年度から下越地区Bの庶務幹事を仰せつかりました。皆様のお力をお借りしながら、微力ですが教頭会の活動を円滑に進められるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

会計監査

田 口 秀 行	上越市立柿崎中学校	熊 木 裕 之	新潟市立五十嵐中学校
堀 和 広	長岡市立川崎小学校		

理事

中 川 知 己	妙高市立新井中央小学校	猪 田 謙	糸魚川市立磯部小学校
佐 藤 禎英知	加茂市立加茂小学校	関 和 則	南魚沼市立塩沢小学校
塚 本 剛	新潟市立東青山小学校	川 嶋 邦 夫	村上市立瀬波小学校
大 森 己智子	上越市立牧中学校	桑 原 大 和	柏崎市立第三中学校
渡 辺 元 子	長岡市立宮内中学校	関 拓 也	三条市立第三中学校
梶 原 敦	佐渡市立新穂中学校	荻 野 伸 也	阿賀町立阿賀津川中学校

事務局

石 見 鉄 夫	横 田 誠
---------	-------

代議員

上 越	大 友 宏 幸	上越市立南本町小学校
	田 口 秀 行	上越市立柿崎中学校
柏崎・刈羽	矢 嶋 隆 之	柏崎市立柏崎小学校
糸魚川	山 崎 正 義	糸魚川市立南能生小学校
妙 高	長 澤 虎 幸	妙高市立新井小学校
長岡・三島	館 岡 信 也	長岡市立坂之上小学校
	涌 井 基 之	長岡市立四郎丸小学校
三 条	関 拓 也	三条市立第三中学校
小千谷	横 山 貴 司	小千谷市立小千谷小学校
加茂・南蒲	杉 山 一 郎	田上町立田上小学校
十日町・中魚	疋 田 克 彦	十日町市立十日町中学校
見 附	山 下 晃 司	見附市立見附中学校
魚 沼	金 澤 健 志	魚沼市立堀之内小学校
南魚沼	富士野 幸 子	南魚沼市立六日町小学校
燕・西蒲	林 部 雄 一	燕市立燕東小学校
新 潟 小	高 橋 新 一	新潟市立木崎小学校
	吉 田 先 保	新潟市立山潟小学校
新 潟 中	田 中 俊 彦	新潟市立南浜中学校
	倉 島 陽 介	新潟市立光晴中学校
新発田・北蒲	清 野 正 康	新発田市立豊浦中学校
村上・岩船	山 本 亘	村上市立荒川中学校
五泉・東蒲	山 口 伸 也	五泉市立五泉小学校
阿賀野	鈴 木 智 博	阿賀野市立水原小学校
佐渡小	野 崎 善 功	佐渡市立河崎小学校
佐渡中	梶 原 敦	佐渡市立新穂中学校
胎 内	網 代 鋼 一	胎内市立中条小学校

専門部活動紹介



アンケート調査にご協力を

調査要請部長 井 筒 正 之
(新潟市立中之口東小学校)

今年度も「教頭の勤務実態調査」と「新潟県義務教育の振興に関する要望書作成のための調査」を行います。これらは、新潟県教育の進展に寄与するとともに、教頭の福利厚生・待遇改善を図るために行うものです。

ここ数年の報告を見ると、依然厳しい勤務実態が分かります。「6時台に出勤する割合が年々増加している」「コロナ禍で中止した行事が再開し始めている」いずれも教頭の働き方改革が進んでいないことの表れです。今後、ますます深刻な状況になるのではと不安でなりません。

そんな状況を改善できるよう、厳しい勤務実態に関係機関に訴え、全国公立学校教頭会とも連携して、勤務条件の改善につなげていきたいと考えています。会員一人一人の声が大切になります。アンケート調査への皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



第61回新潟県小中学校教頭会研究大会の開催に向けて

研究部長 金 子 康太郎
(新発田市立東豊小学校)

今年度は、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」を受け、新潟県教頭会としてサブテーマ「夢や希望に向かい、他者とともに自ら未来を拓く子どもを育む学校づくり」の3年次研究に取り組んでいきます。

今年度の「第61回新潟県小中学校教頭会研究大会」は、3年ぶりとなる全県での研究大会になります。11月5日(水)の開催に向けて、新発田市・北蒲原郡小中学校教頭会、胎内市小中学校教頭会が主管となり準備を進めています。当日は、5課題8分科会の研究発表・協議を予定しております。研究の3つの柱である「研究の継続性」、「組織研究としての協働性」、「学校運営における教頭の関与性」を観点として各実践の成果と課題を共有し、学校運営の力量を高めると共に、会員同士のつながりを深める機会にしたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。



つながりを深める会報に

広報部長 壘 和 弘
(上越市立和田小学校)

広報部は、県教頭会の活動方針や活動状況を発信することによって、本会に対する理解を深め、協力をいただけるように努めてまいります。また、郡市教頭会の会員の皆様の考えを紹介し合うことで、会員相互のつながりを深くしていくことに貢献していきたいと考えています。

今年度の特集は、昨年度に引き続き「我が校の特色的な教育活動紹介」と「我が校の働き方改革紹介」です。今の学校に求められ続けるこの2つの課題に、各校でどのように取り組んでいるか、互いに参考となる紙面にしていきたいと考えています。

なお、会報の発行に際して、会員の皆様の原稿執筆や郡市教頭会長の皆様の執筆者選定や執筆依頼にご協力いただくこととなります。いずれもご多用のところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。



教育課題部の活動

教育課題部長 大 塚 賢 一
(長岡市立東中学校)

教育課題部は、会員のアンケート結果を分析し、県の重点教育課題を把握するとともに、その解決に向けてどのように取り組むべきかを検討し、具体的な実践や対策について提案します。

昨年度から意識調査の回答について、さらにその理由を詳しく、自由記述で答えてもらう形に変更しました。

「教頭」という立場だからこそ感じられること、思うこと、考えられることを、互いに確かめ合い、共有できる機会です。

会員の皆さんが日頃感じていることや意識していることが、学校課題の解決に役立てられるよう、取りまとめたアンケート結果を分析し、一つでも多くの実践・対策を提案できるよう、部員全員で努めてまいります。

御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

郡市教頭会ネットワーク



つながりを深めて 活動の充実を

長岡市三島郡小・中・総合支援学校教頭会
涌井 基之
(長岡市立四郎丸小学校)

当教頭会は、小学校52校、中学校28校、総合支援学校1校、高等総合支援学校1校、新潟大学附属小中学校2校の計84か校、84人の会員で構成されています。長岡市・出雲崎町は広大で、会員が一堂に会する機会は決して多くありません。限られた機会を有効活用し、密な情報交換を通じて相互の連携を深めることに注力しています。

1 4つの委員会による会務運営

当教頭会には、総務、厚生、研修、調査要請の4つの委員会があり、全会員がいずれかの委員会に所属します。総務を除いて、会員は毎年所属する委員会が変わります。3年間で3つの委員会を経験することになります。これにより、会員の所属意識や協働性を高めてきました。

2 6つのブロックによる交流

当教頭会では、学校を6つのブロックに分け、ブロックごとの研修や情報交換も推進しています。地域に根ざした特色ある取組について情報交換しています。また、中学校区の連携も進め、教頭同士で信頼関係を醸成しています。

3 総会・全体研修会での交流

総会・全体研修会は、全会員が集う貴重な機会です。日頃の悩みや学校経営の課題等について情報交換を行います。校種や課題によるグループ分けを行うなどしてニーズに応じた情報交換になるように工夫をしています。ブロックの枠を超えた交流が生まれ、広い視点からの意見交換が行われます。

激動する社会の中で、子どもたちが未来を生き抜く力を育むためには、教頭が学校組織の中核としてその力量を遺憾なく発揮することが重要です。教頭会の活動を一層充実させ、互いに切磋琢磨しながら連携を深め、管理職としての資質・能力の向上と意識の高揚を図っていきます。



支え合い、 高め合う教頭会

佐渡市小学校教頭会
野崎 善功
(佐渡市立河崎小学校)

佐渡市小学校教頭会は、小学校20校、オブザーバー参加の特別支援学校1校、計21名の会員で構成されています。

今年度は、7名の新任会員を迎え大変フレッシュな顔ぶれとなりましたが、ふと見渡すと1校目の会員が80%を超えています。赴任して初めて島内を訪れた方もいるため、会員の皆さんが安心して業務に向き合えるよう「研修」と「情報共有」の2つを大切に会を運営しています。

1 ニーズに即した研修

佐渡市小学校教頭会では、「危機管理研修会」「小中教頭会合同研修会」「冬季研修会」に取り組んでいます。そのうち「小中教頭会合同研修会」に向けた取組として、「学校・家庭・地域・行政の連携で子どもを育む体制づくり」について、これまで研修を進めてきました。少子化と学校規模縮小が進む佐渡市の学校現場では、どの学校でも取り組むべき内容で、参考になること、真似てみたいことが多くありました。また、中学校教頭会と合同で取り組むことにより、貴重な意見をいただくことができ、会員一人一人の視野を広げる貴重な研修の場となっています。

2 会員相互の連携

会員同士の連携を図るため、校務支援システムを有効活用しています。困ったことがあるとき、他校の情報を得たいとき等、互いに連絡を取り合い、解決しています。全体で共有することも欠かせません。小規模ながらも、顔がよく見える利点を生かし、教頭同士で遠慮なく情報交換と共有を行い、業務推進に向かえるところが、佐渡市小学校教頭会のよいところ です。

最後に、会員一人一人が互いのよさを認め合い、支え合いながら研鑽を積み、佐渡市の教育の発展のために自信をもって教頭職を全うできる佐渡市小学校教頭会を目指していきたいと考えています。



共に汗をかく

上越市立飯小学校

村 松 研 一

「あなたなら職員と共に汗をかく、よい教頭になると確信しています。ただあまりがんばりすぎないように。教頭職を楽しんでください。笑顔を大切に！」尊敬する先輩からいただいた言葉です。

赴任して3カ月。今はまだ、目の前の仕事をこなすことに精一杯で、笑顔どころではありませんが、子どもたちの「一人一人のかがやきづくり」のために、校長を助け、職員を支え、地域や関係機関と連携を密にしていきたいと思います。そのためには、自分自身が今まで以上に成長をしていく必要を感じています。

当校の職員は、子どもに寄り添い、子ども一人一人を大切にしています。素晴らしい職員とのかかわり合いを通して、子どもたちのために、職員に信頼される教頭を目指し、『楽しく』『全力で』『笑顔で』共に汗をかいていきたいと思っています。



『初心』そして『地道に』

新潟市立岩室小学校

山 口 洋 一

この4月、私は教頭となったものの、ある時ふと不安になったのです。

自分は『教頭』として、認めてもらえるのだろうか。不安を消すには、精一杯のことをすること、そして努力を積み重ねることだと考え、4月からただひたむきに職務に当たってきました。

そして現在、素直で前向きな子どもたちと、にこやかで協力的な保護者・地域の方々、さらには協働的で温かい先生方・職員の皆さんと、よりよい学校づくりへ向けて充実した日々を送れています。

しかしやはり、時にふと不安に思うのです。

自分は『教頭』として、本当に認めてもらえているのだろうか。

初心を、大切にしたいです。奢らず謙虚に、地道に努力を積み重ねていき、教頭としての力量を高めていきたいです。そして、当校に関わる全ての人々が『学ぶ喜び』、そして『教育を行う幸せ』を感じられる学校を、学校に関わるみんなでつくっていきたいと思っています。



子どもから学ぶ

南魚沼市立赤石小学校

大 淵 利 枝 子

「きょうとう先生は子どもと大人を大せつにするしごと」国語の学習で私にインタビューしてくれた2年生が、教室に戻って担任に伝えた言葉です。「今まで知らなかった様々な人の仕事が学校を支えている」職場体験終了時の中学生の言葉です。事務主任、SSS、校務員、養護教諭、司書、学級担任等の仕事を見学・体験してもらいました。どちらの言葉も、私自身が忙しさの中で見失いそうになる本質をズバリ示してくれています。やっぱり子どもってすごい！この尊敬する子どもたちが、未来に向かって自分をつくっていく場＝学校のために、自分にできることは何かと問い続けていきたいと思っています。



つながりに感謝して

五泉市立橋田小学校

佐 藤 将 臣

橋田小学校は、キウイやホタル、サケなどを地域の宝とする豊かな自然環境に囲まれています。また、地域と一体となって開催する地域運動会など、地域とのつながりを強く感じることができる学校です。

新任教頭として着任してから3か月。張り切りたいたい思いとは裏腹に、慣れない業務に目を回しながら、自信を失いそうになることが何度もありました。

しかし、困ったとき、悩んだときには、これまでお世話になった多くの先輩方、同僚、そして現任校の校長をはじめとする仲間からの助言・励ましに何度も助けられてきました。私にはつながりという大きなリソースがあるのだと気付かされました。

新たな勤務校、新たな立場で、これまでのつながりを活かし、これからのつながりを育んでいく中で、自分はもちろん、子どもや教職員の成長へとつながられるよう、一步一步着実に歩んでまいります。



随 想

任せる？
それとも自分でする？

柏崎市立柏崎小学校

矢 嶋 隆 之

教頭になって3年目となり、刺激的な毎日を送っています。私の最大の目標は、職員が元気に一年間を勤めあげることです。毎年、メンバーが入れ替わります。年齢構成も変わります。その中で、さまざまなことが起こるのが私たちの職場です。

最近、管理職は、いつまでも「プレーヤー」のつもりではいけないのだと痛感しました。人に頼られることは、うれしいことであり、大変なこともあります。人に仕事を任せることは、勇気が必要であり、自分で行うよりも難しいことも多いです。私は人に仕事を任せることが苦手で、つつい自分前に出過ぎてしまうことがあります。

これは、問題を小さなうちに解決できるというプラスの面もあります。しかし、同時に職員の成長するチャンスややりがいを奪ってしまっているというマイナスの面もあります。

フットワークの軽い教頭でありたいという思いがあります。しかし、同僚が求めることに適切なアドバイスをしたり、その人の仕事を見届けて価値づけたり、時には一緒にやったりすることができるような人になりたいです。これが私の少し大きな目標です。



教育実習を受け入れて

十日町市立千手小学校

倉 石 智 幸

現任校に勤務して3年目になるが、毎年実習生を受け入れている。今年度も5月から6月にかけて、2名の実習生を受け入れた。実習指導は、先生方の負担も考えて私が担当している。学生にとって、この教育実習は大変な4週間なのに、そのうえ教頭が指導担当なのだから、きっと嫌だろうなと思う。

今年度の2名も、とてもさわやかに一生懸命実習に取り組んでくれた。私がかかわった4週間の実習指導で印象に残ったエピソードを2つ紹介する。

1つは、授業で子どもの発言後に実習生が必ず言う「ありがとう」である。実習生は自然なのに、私には少し違和感があった。なぜだろうかと考えた。実習生はそこまで考えていないのかもしれないが、この言葉には深い意味があるように思う。私たちの仕事は子どもがいなければ成り立たない。だが仕事とはいえ、当たり前のように授業を受けている子どもたちに感謝の気持ちを忘れてはならない。そのことを改めて考えさせられた実習生の言葉だった。

もう1つは、教師のやりがいについて考えたことである。ある日の実習日誌で、実習生が教師のやりがいについて書いていた。私自身も教師のやりがいとは何か考えてみた。私は、自分の支援や指導によって子どもが成就感や達成感を嬉しそうに表現している姿を見たときに、とても嬉しい気持ちになる。それがやりがいに近いのではないかな。そんな子どもたちの姿をたくさん見ることができるよう頑張りたいと思った。

教育実習の4週間は、実習生だけでなく私にとっても、教職について考える貴重な機会となった。そんな機会をくれた実習生にも感謝したい。

令和7年度
各種大会日程

- 1 全国公立学校研究大会茨城大会(関プロ大会を兼ねる)
7月31日(木) 8月1日(金)
- 2 第61回新潟県小中学校教頭会
新発田・北蒲原・胎内大会 11月5日(水)
- 3 令和7年度 中央研修大会
オンライン開催(各都市教頭会1名参加) 2月13日(金)
ビデオ自主研修(全員参加) 2月中旬～3月末日
*自由視聴

新潟県小中学校教頭会
[事務局]
県教頭会ホームページ
全国公立教頭会ホームページ

〒950-0912 新潟市中央区南笹口1丁目1-38 コープオリンピア笹口 205
E-mail n-kyotokai@crest.ocn.ne.jp TEL (025) 245-5691
https://www.niigata-kyotokai.jp/ FAX (025) 245-5692
https://kyotokai.jp/